

5月20日(金)に大阪府市町村ボランティア連絡会総会が開催されました。第2部講演会では、

「ホームレス問題について考える『ビッグイシュー』基金の取り組み」と題し、認定NPO法人ビッグイシュー基金(以下二さん)による講演がありました。



たくさんの質問に対して、一つ一つ丁寧に答えいただきました。

まず、佐野さんは「ホームレスには失業、住居喪失など経済的な問題に加えて、身近な絆を失うことによってなる」と指摘。当事者が「社会的孤立」をして、ホープレス(希望を失う)になり、ホームレスに陥ってしまうことが多いのだと言います。

府ボラ連 平成28年度 総会 講演会

～誰にでも居場所と出番がある “包摂”社会を目指して～

そのようなか中、ビッグイシューでは当事者の仕事づくりと自助型の支援を念頭に、3つの柱(ホームレスの自立支援・ホームレス問題解決のネットワークづくりと政策提言・ボランティア活動と市民参加)の事業を展開しています。

具体的な支援として、雑誌「ビッグイシュー」の販売(収益の半分以上を当事者に還元)だけでなく、排除されがちな人々が集える機会や場(スポーツや文化活動など)の提供も行っています。さまざまな楽しい場を提供することで、「自分も生きていていいんだ」と自信をもち、自立への意欲もわいてくると佐野さんは語ります。最近では20～30代の若い方も増えてきており、彼らは「全部自分が悪い」からと思いがちだそうです。そのため、自己肯定感を高めることは社会参加の第一歩でもあると話します。

また、千人を超えるボランティアがビッグイシューに登録しており、路上脱出ガイドの配布や夜回り、路上販売の応援等、多様な活動を通して、ホームレスの方々を支えています。

佐野さんは「ホームレスの方を見かけたら、『こんにちわ!』と声かけをしてみてください。おそらくびっくりされると思います。でも、ホームレスの人はひとりぼっちの方が多いため、きっとそのひとことが、その人と社会をつなげるきっかけになるはずですよ」と話し、ボランティアや理解者が広がるのが大切であると結びました。

終了後、参加者からは「声かけだったら私でもできそう!」、「雑誌を販売しているところを見かけたら、購入してみます」などの声が寄せられました。

ボラほり商店街

からほりボランティア出合い市

5月15日、府社協と主催6団体は、情報発信したいボランティア団体と、ボランティアしたい人を結ぶ機会として、からほり商店街(大阪市中央区)で「ボラほり商店街」と称したイベントを開催しました。

昨年に引き続き2回目の今回も、お休みの店舗前の軒先をお借りし、35団体・個人が出店し、相談窓口を設けたり、写真やパンフレットで通行人に活動を紹介。缶バッジや風車づくりのブースでは、高齢者と子どもが一緒になって、手作りおもちゃに夢中になっていました。



普段はパン屋さんの店先が、手作りおもちゃのワークショップに。

このほか、熊本地震を受けた募金活動や、防災に関するワークショップ、着ぐるみボランティアなど、多彩な顔ぶれに団体同士の交流が深まる場となりました。今後も府社協は、ボランティアのすそ野拡大を目指し、新たな仕掛けづくりに取り組んでいきます。

主催：高齢者外出介助の会、社会貢献情報紙ユナイテッド・トゥモロー、中央区ボランティアビューロー、大阪市ボランティア・市民活動センター、大阪ボランティア協会、日本赤十字社大阪府支部奉仕団

開催

誰でも気軽に行こう



夏のボラ体験

府社協と府内41市町村社協のオール大阪による「ボランティア体験プログラム」を、今年も開催します。

地区福祉委員会や福祉施設、ボランティアグループ、NPO等の協力により、ボランティア活動を身近に感じられる、個性豊かな楽しいプログラムが用意され、「ボランティアは初めて」という方はもちろん、親子や友だちグループでの参加も大歓迎です。

この夏、体験を通してたくさんの人と出会い、今まで知らなかった世界に触れてみませんか? たくさんのご参加をお待ちしています!

体験期間 7月1日～9月30日まで

申込み先 各市町村社協の窓口

プログラムの検索はこちら▼

(6月20日頃に更新予定)

<http://www.osakafusya.kyo.or.jp/volunteer/summerv.php>

